

みやこ町図書館だより2014冬 ふくろうの森通信

発行 2014年1月1日 第23号



新年あけましておめでとうございます。

昨年は図書館の活動にご理解、ご協力くださり、ありがとうございました。

移動図書館「にこにこ号」は今年で3年目となり、平成25年7月25日からは「伊良原文庫」も始まりました。少しずつですが、遠方の方にも利用しやすい環境となってきました。今後も利用者の方が便利で使いやすい図書館となるよう、励んでまいりますので、今年もよろしくお願いたします。



平成25年度 みやこ町読書週間関連事業

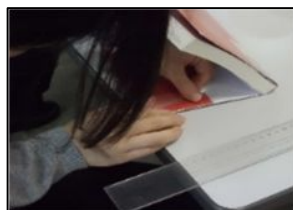
昨年の秋に、『読書週間』の催しを行いました。



フィルム装備講座

講師：図書館流通センター 早田みゆき氏

10月27日に中央館で、11月10日に勝山館で開催しました。フィルム装備とは、図書館の本に施しているように、表紙に透明なフィルムを貼ることで、きれいに貼るにはコツがあるので、参加者は最初、苦戦していたようですが、2冊目からはスムーズに出来ているようでした。



布絵本講座

講師：布絵本製作ボランティア ゆずりはの会

11月6・13・20・27日に、犀川館で行いました。素材はフェルトを使い、『できるかな?』というタイトルの布絵本を作りました。参加者は、先生に尋ねながら、部品ひとつひとつを丁寧に作っていました。



ブックリサイクル

11月1日から中央・犀川・勝山の3館で行いました。図書館での役目を終えた図書や雑誌を、利用者の方にお持ち帰りいただきました。





2014年大河ドラマ主人公

黒田官兵衛と京築の関わり



2014年の大河ドラマの主人公が黒田官兵衛に決まり、京築地域の官兵衛と関わりの深い史跡や、敵対した宇都宮氏関連の城跡などが注目を集めています。しかし、普段何気なく聞くだけで知らないことも多いもの。そこで、今号の特集では主な史跡や関連本の紹介をします。

〈戦国武将 黒田官兵衛〉

戦国時代に活躍した武将。本名は孝高^{よしたか}。法名は如水^{じょすい}。織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の3人の天下人に仕え、特に秀吉の軍師として名をはせ、数々の合戦に参加した。1587年豊前六郡を与えられ中津城を居城にして統治した。2年後には家督を長男の長政に譲った。関ヶ原の合戦後、長政が筑前国（現福岡市一帯）を与えられると、官兵衛も移り住んだ。1604年没。連歌や茶の湯にも通じ、キリシタン大名であったとも言われている。

【関係略地図】



〈馬ヶ岳城〉

平安時代に築城された山城。京築地域の戦略上の拠点であった。官兵衛が中津城に本拠を移すまで使用していて、登ってみると本丸・二の丸跡、土塁の跡などがわかる。(みやこ町・行橋市)



〈中津城〉

山国川河口に築かれた城。黒田官兵衛が本拠地として改修していたが、全ての完成を待たずに転封となった。城は後に入った細川氏により完成した。(中津市)



〈神楽城〉

みやこ町犀川木井馬場地区の木井神社背後にある山の山頂に築かれた山城。宇都宮信房^{のぶふさ}が築き、築上町の城井谷に本拠が移るまで、数代にわたり本城として使用された。(みやこ町)



〈宇都宮の本拠 城井谷〉

宇都宮氏は城井谷の要所に山城や居城を築き、谷全体で防御の体制を整えていた。現在はその名残しかないが、菩提寺の天徳寺には、最後の当主鎮房^{しげふさ}や一族の眠る墓や宇都宮氏が納めた掛け軸などが残っている。(築上町)



〈松山城〉

周防灘に面した山に築かれた山城。周防灘沿岸の重要な軍事拠点であった。秀吉の九州平定の際、官兵衛ら秀吉方の武将の拠点となった城である。(荻田町)

豊前を治めた宇都宮一族

もとは関東を拠点にしていた中世の豪族。その中の宇都宮信房^{のぶふさ}が源平合戦の後、豊前の地頭職に任ぜられ仲津郡城井（現みやこ町木井馬場）に本拠を置いたのが始まり。のちに、築城郡城井谷（現築上町）に本拠を移し、初代信房以降400年豊前地域を治めていた。

戦国時代、秀吉の九州平定の際は秀吉に従っていたが、のちに四国への転封を命じられる。それを不服として、新たに豊前六郡を与えられた黒田氏に対して反乱を起こした。戦いでは決着がつかず、和睦することになり、宇都宮十八代当主鎮房^{しげふさ}が中津城に出向いたが、そこで黒田官兵衛の子、長政によりだまし討ちの形で殺され、本拠地である城井谷の城も落とされ滅亡した。

黒田・宇都宮関連本

関連本はこの他にもまだまだ所蔵しています。
詳しくはカウンターでお尋ねください。



＜小説＞

- 『播磨灘物語 上・中・下』 司馬 遼太郎 講談社 1982
- 『武士(おとこ)の紋章』 池波 正太郎 新人物往来社 1990
- 『小説黒田如水』 童門 冬二 富士見書房 1994
- 『大軍師黒田官兵衛』 桜田 晋也 祥伝社 1999
- 『軍師の門(上・下)』 火坂 雅志 角川学芸出版 2008
- 『風渡る』 葉室 麟 講談社 2008
- 『黒田如水』 吉川 英治 コスミック出版 2013
- 『天主信長 裏』 上田 秀人 講談社 2013

＜人物・史跡他＞

- 『黒田如水』 三浦 明彦 西日本新聞社 1996
- 『黒田如水』 小和田 哲男 ミネルヴァ書房 2012
- 『城井・宇都宮氏の滅亡』 松山 譲
ライオンズマガジン社 1983
- 『豊前宇都宮興亡史』 小川 武志 海鳥社 1988
- 『戦国武将・城井鎮房』 宇都宮 泰長 鵬和出版 1997
- 『福岡県の城』 廣崎 篤夫 海鳥社 1995
- 『福岡県の名城』 海鳥社 2013

としょかん司書お勧め チェック本

【一般向け】

『こうして作れば医者はいらない』

若杉ばあちゃんの台所』



若杉 友子 (著) 祥伝社

からだによい食事をするために、昔ながらの料理法で調理したものを食す。しかし世代が変わり、その味も調理法も忘れられつつある。昔からの日本の味を教えられ、食を見直すきっかけになりそうな本である。(2013)

【一般向け】

『2.43 清陰高校男子バレー部』

壁井 ユカコ (著) 集英社



卓越したバレーセンスがあるのに問題児の灰島と、身体能力は抜群なのに気の弱い黒羽。田舎の弱小バレー部に入部した2人が目指すのは全国大会！それぞれ葛藤を抱えながらも前に進む姿に共感できる1冊。(2013)

【児童向け】

『紙のむすめ』

ナタリー・ベルハッセン(文)

ナオミ・シャピラ(絵) もたい なつう(訳)

光村教育図書



白い紙でできた家に白い紙からうまれたむすめがすんでいた。ひとりぼっちのむすめは、白い紙で次々と様々なものをつくっていった…。美しい切り紙の絵本。(2013)

【児童向け】

『星空のかがく』

えびなみつる (絵と文) 渡部潤一 (監修)

中西昭雄 (写真) 旬報社



夜になると空に現れる星たち。よく考えると、謎の多い存在だ。星空を見たり、宇宙のニュースを聞いた時、子どもたちが最初に疑問に思うことを、分かりやすく紹介している。寒いのを少し我慢して、冬の空を見てみませんか？(2013)



1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※1月1日(水)から1月4日(土)まで
休館します。

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

開館時間 : 10時から18時まで
休館日 : 毎週月曜日
毎月最終木曜日
(木曜日が祝日の場合翌日)

お問い合わせ

- みやこ町中央図書館
みやこ町豊津 1122-12 ☎33-1040
- みやこ町犀川図書館
みやこ町犀川古川 50 ☎42-3330
- みやこ町勝山図書館
みやこ町勝山黒田 86-1 ☎32-3455

ホームページアドレス

<http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.jsp>

本のある風景

伊良原文庫

平成 25 年 7 月 25 日、伊良原コミュニティーセンター内に「伊良原文庫」がオープンしました。

みやこ町図書館所蔵の本や雑誌を 300 冊程度おいています。一人 5 冊まで、2 週間の貸出となっています。3 ヶ月おきに本や雑誌を入れ替えています。

伊良原地区はみやこ町の中心から離れており、交通手段のない方には、便利だと喜ばれているようです。



声

このコーナーでは、利用者の皆さんからよくある質問をご紹介します

図書館で無線LANが利用できますか。

みやこ町の3つの図書館はいずれも、無線LANのアクセスポイントになっています。個人のパソコンを持ち込んで、インターネットに接続することができます。

ただし、使用できるパソコンは無線LANカードがインストールされているか、無線LAN機能を内蔵したものに限られます。接続に関しての説明は、図書館側では行っていませんのでご了承ください。

使用場所等については、事前に職員におたずねください。

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年のNHK大河ドラマは『軍師 官兵衛』です。ここ、みやこ町にもゆかりの人物として、昨年からの話題となりました。

今回の特集も黒田官兵衛です。図書館にも彼に関する本があるので、ぜひ読んでください。(和)

